



2022年 3月15日 火曜日
(令和4年)

遊び心詰めた 隠れ家3棟

羽生の埼玉純真短大こども学科



羽生市下岩瀬の埼玉純真短期大学 藤田利久学長) 内に子ども隠れ家「キッズハウス」3棟が完成し、10日に披露された。ものづくり大学(行田市・赤松明学長)との学生共同プロジェクトの一環。建物は保育教育の充実に役立てる。
(江利川義雄)

ものづくり大の学生共同プロジェクトで完成した「キッズハウス」1。羽生市下岩瀬の埼玉純真短期大学

ものづくり大生と共同制作

2018年11月に埼玉純真短大とものづくり大・平成国際大学・加須市の3大学が連携協定を締結し、共同プロジェクトが始動。今回は埼玉純真短大のこども学科の学生18人がアイデアを出し、ものづくり大の学生3人が卒業制作で取り組んだ。

3棟は滑り台やボルダリングの壁があったり、マカロン絵入りのお菓子の家だったり、どれも子どもの遊び心意識して制作。ものづくり大4年、高田怜治さんは「純真短大の学生からたくさん要望をもらい、なんとか形にできた」と振り返った。

埼玉純真短大こども学科では保育士や幼稚園教諭などを目指す学生たちが学び、実習で子どもたちが学校を訪れることも。2年生の鎌田萌花さんは「お菓子の家を作ってみたかった。子どもたちが喜んで遊んでくれそう」、小早川直緒さんは「好き滑り台を付けた。面白いものができた」と話していた。

両大学のプロジェクト作品は、19年3月に埼玉純真短大の教室内に制作した模擬保育室「おひさまらんど」から始まった。昨年は5歳児くらいの幼児が屋外で利用することを設定したキッズハウスを1棟制作して、今回の3棟を加えて計4棟になった。

赤松学長は「異業種の大学で連携し、専門分野を活かしながらもものづくりをする」ことに意味がある」と話した。